

氏 名 佐野 誠

所 属 ・ 職 名 社会科教育講座（法律学）・教授

研究室電話番号 0742-27-9170  
（ダイヤルイン・FAX 兼用）

電子メールアドレス sano@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 京都大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学（1986）  
法学博士（京都大学 1997）

所 属 学 会 等 比較法史学会，日本・ユダヤ文化研究会，日本法社会学会

専 門 分 野 比較法史・人権／国家論・法制史



## 研究と教育について

### 研究テーマ

- 1) 近代ドイツの法・国家・宗教
- 2) 人権・基本権の法史的・思想史的起源 - 特にドイツとアメリカ合衆国
- 3) ドイツ・ナチズム期のユダヤ人問題・安楽死問題
- 4) マックス・ヴェーバーとカール・シュミットの思想史的位相の差異
- 5) 反ユダヤ主義の諸要因の探求

思想史的・歴史的問題を縦軸に，現代の法的・政治的・社会的問題を横軸にしつつ研究を進めています。歴史的過去と現代とは決して切り離されるべきではないというのが私の持論です。

最近では，人権の法史的・思想史的起源として，アメリカ合衆国の「信教の自由」およびベラリズムの問題性についても注目しています。

### 教育方針

学への批判的精神と学への畏敬（＝謙虚さ）は表裏一体の関係にあり，学生時代にこの学的精神を身につけてほしいと願っています。

現代社会に対する鋭い批判的精神と，論理的に物事を考える力を養ってもらいたいと考えています。

人権教育の普遍的重要性については，講義や演習をとおして繰り返し指摘しています。

専門に閉じこもらず，広い視野に立った探求心を持ち続けてもらいたいと思っています。

## 主な研究業績

- ・『近代啓蒙批判とナチズムの病理 - カール・シュミットにおける法・国家・ユダヤ人 - 』，創文社（単著），2003年
- ・「マックス・ヴェーバーとカール・シュミットの思想史的差異 - 特にユダヤ人観と人権をめぐって - 」，『Historia Juris 比較法史研究』（比較法史学会），13，未来社（単著論文），2005年，231-255頁
- ・『「生きるに値しない命」とは誰のことか - ナチス安楽死思想の原典を読む - 』，窓社（共訳著書），2001年
- ・『カール・シュミット時事論文集 - ヴァイマル・ナチズム期の憲法・政治論議 - 』，風行社（共編訳書），2000年
- ・『ヴェーバーとナチズムの間 - 近代ドイツの法・国家・宗教 - 』，名古屋大学出版会（単著），1993年

## 主な授業担当科目

日本国憲法（学校教育基礎科目・課程共通科目），法学概論（専門科目），法学（地域社会と法）（専門科目），情報社会と法・倫理（専門科目），社会科内容論（法学領域）（大学院），人間社会と法（大学院）

学 会 活 動 現在，法学・政治学関係の学会以外に，市民参加型の神戸・ユダヤ文化研究会（Japanese-Jewish Friendship and Study Society in Kobe，略称 JJSK 旧称＝日本・ユダヤ文化研究会）の運営に参加しています。以下のホームページを参照してください。<http://www.geocities.jp/jjsk95/>

## 社会的活動

## 講演のテーマ